



鴨居地区福祉まつり 特集 平成28年11月3日(祝)開催

第16回鴨居福祉まつりに参加して

緑区戸籍課長

大山 尚久

当日は気持ちがいい秋晴れで、格好のイベント日和でした。区内では中山まつりや長津田まつりなど多くの「おまつり」が開催されていました。

今回はじめて参加しましたが、大盛況でトン汁などは引換券が早々になくなっていました。「福祉まつり」というだけに、さまざまな福祉の団体が物販のほかに写真やパネルでわかりやすく活動を紹介していたり、健康チェックなどもあり、こうした方々によって鴨居の福祉活動が支えられているのだなあ、という思いを強くしました。

この他にも楽しめる要素がいっぱいありました。恒例となっている鴨居小学校の児童によるソーランも、テンポよく踊っている姿に元気をもらいました。鴨居が誇る伝統芸能のお囃子の実演がありましたが、地域の子供たちや長年この活動に携わっている方々の大変さを思いつつ、この伝統をさらに継承していってほしいと思いました。

また、川柳コンテストにも投票しましたが、参加作品がどれも身につまされるものばかりで、「あ〜わかる、わかる」と唸ってしまうものや、ちょっと笑いを誘うものなど選ぶのに悩みました。

まつりのテーマが「楽しもう！つながろう！顔の見える関係」というだけに、地域の方々の交流の場にもなっている、すばらしいイベントであり、鴨居の地域力を感しました。

まつり風景

今年もオープニングは小学生のソーラン！



手作り体験、うまくできたかな？



配食サービス、食事会のお弁当、あっという間に売切れ！



第16回「鴨居福祉まつり」を終えて

鴨居第三地区自治会会長

小宮山 政行

雲一つない晴天に恵まれ、「楽しもう、つながろう、顔の見える関係」をテーマに繰り広げられた福祉まつり、スタートから人出も多くオープニングから寒さも吹き飛ばす小学生の「よさこいソーラン節」は、まつりを盛り上げてくれました。

思いつくままに感想を少々・・・福祉川柳は、生活の中から出された力作ばかりで日本の今日を表現しているかのようです。図らずも小生は二年連続入賞の栄に恵まれ幸せでした。

リユースの衣料品は、子供から大人の物まで、成長に合わせてバトンタッチしていくようでしたが、開始時間前に良い品を持ち帰るルールを守らない人がいたのが残念でした。

鴨居の各種団体の活動内容が見えてきて、また新たな発見がありました。人の交わりは、写真など目に見えるものと、心の叫びが交差するところにあると思いました。

消費生活での落とし穴、無条件で契約解除できるクーリングオフ、悪徳商法(電話・訪問・送り付け・催眠商法等)追放へのいざない、また、地震など災害への備えは常に考え、前に進めなければならないと感じた次第です。

福祉川柳コンテスト ～入選作品紹介～

第一位

わが人生 金はなくても 友がいる 渡邊 勇

第二位

徘徊も タスキかければ パトロール 庄司 登志子

第三位

物忘れ 顔は分かるが 名が出ない 小宮山 政行

福祉まつり開催にあたり、右のご寄付、その他お祝いを頂戴いたしました。毎年、ありがとうございます。

衣類リユース：
メソソヴェルト：
ふうせんのトラちゃん

¥1,872- (東鴨居中30周年行事に寄付)
¥3,000- (+小学生へのわたがし提供)
¥5,288- (東鴨居中30周年行事に寄付)

鴨居福祉まつりと家庭防災

鴨居・家庭防災員会 会長 原田 雅之

福祉まつり開催おめでとうございます。当日は、前日の雨も上がって快晴でした。

さて、私は鴨居・家庭防災員会のメンバーです。今年も体育館でブースを持たせていただき、家庭防災員会の活動をアピールさせていただきました。

家庭防災員の活動目的は、いつかは来ると予想される大地震や自然災害に対して、家庭内の家具の転倒や火事発生等による事故を減らし、自身・家族・近隣の人の安全やケガの対応、及び数日間自助で生き抜くための方策を学習することにあります。

例年、模造紙ポスターを掲示し、防災グッズを展示し、防災パンフレットを置いていましたが、アピール度をさらに高めようと、今年は、熊本地震・鳥取地震の倒壊家屋を映したニュース画像をプロジェクターで投影しました。ニュース映像は、明るい画面で動きがあるので、遠くからでも、何だろうと興味を持っていただけたことと思います。来年は、また何か防災ネタを工夫して、来場者の関心を引こうと考えています。

家庭防災員活動はじめ、連合自治会にはどんな団体があり、どんな活動をしているのかを具体的に理解していただくために福祉まつりはたいへん良い機会ですので、更に多くの鴨居の皆さまに来て見ていただきたいと期待しています。

鴨居福祉まつりに参加して

民生委員・児童委員 西川 克美

11月3日文化の日、鴨居小学校の校庭と体育館にて福祉まつりが行われました。

当日は天気も良く 11 時の開始前から地域の皆様・関係機関の方々が大勢お出でになりました。

お目当ては開会式でソーラン節を披露した子どもたちでしょうか、大きな鍋に用意された豚汁でしょうか、お昼用のお弁当でしょうか、地元の野菜やフリーマーケットやリサイクル品、掘り出し物はたくさんありました。

民生委員として参加していた私は体育館のホットカフェにいました。みなさん両手にいっぱい荷物を持たれ、コーヒーを飲まれながら獅子舞をご覧になっていました。

ご来場の方々の満足した顔を拝見すると、大きな輪ができた感じがします。福祉まつりの狙いの一つかもしれませんね。私はまんまとはまってしまいました。皆さん来年もまたお会いしましょう。

鴨居のフトコロ

東鴨居中学校 PTA 会長 服部 真人

結婚の際に「駅と川が近い」という理由だけで住み始めたこの鴨居。土地のミズが合ったのか家族も順調に増え、8 年前に一丁目から二丁目に引っ越しとなりました。

この二丁目で鴨居の街のフトコロの深さをより味わうことになります。

新しい住まいは新興住宅地への初期入居となりましたが、すぐに近くの故国井二丁目前会長が訪ねて来られ、ゴミ収集段取り等、本当に細やかなお世話を頂きました。

特に感謝しているのは、ひととおり新住民が入居した後に、バーベキューパーティーを自治会の音頭で開催頂いたことでした。準備から運営まで自治会の先輩方に全て対応頂き、とても楽しい会になりました。このイベントで新しいメンバーの結び付きがグッと深まり、今の子供達の遊び声が絶えないご近所の状況に繋がっています。

先日の鴨居福祉まつりに参加して、改めてこの体験を思い出しておりました。

リタイアされた先輩方も皆をサポートする側で活躍されている、そして何よりも本人たちが楽しんでいらっしかったです。

とてもありがたい鴨居のフトコロを再認識させていただきました。

感謝です。



楽しかった福祉まつり

鴨居小学校6年 栗本 幸輝

ぼくは、11月3日に鴨居小学校で開催されている福祉まつりに行きました。

「Let's dance with Yokohama」(横浜市歌による編曲・振付)を踊りました。この日のために練習し、本番では少し緊張していましたが、皆さんのみている笑顔などを見て、緊張しなくなりました。

その後、ぼくは綿菓子やトン汁、お茶などを飲んだり食べたりしました。

体育館の中に行こうと思いましたが、その後用事があって行けませんでした。

外だけでも、十分楽しめましたが、来年は中もゆっくり見たいと思います。

来年も、いい天気で、福祉まつりに行きたいです。



<編集後記>

今年の福祉まつり、前日深夜までの雨天で心配しましたが、驚くほどの好天で本当に良かったです。ご来場者も非常に多く、ご協力いただいた皆様に本当に感謝しております。準備・運営では至らない所があったと思いますが、継続改善して更により行事にしていきたいと思います！めっきり寒くなりました。お体をお大事になさってください。